

学校教育目標：子どもの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加を目指し、心豊かにたくましく生きていく子どもを育てる

目指す学校像

知的障がい教育の高い専門性を有し保護者や地域から信頼される学校  
10年後を見据え、成長・発展し続ける学校

卒業後の目指す人物像 校訓：自立・友愛・希望（自分らしく 助け合って 心豊かに）  
自らの役割を果たし、よりよい社会を創る人  
人とかがわりながら、自らの人生を豊かに描き、創る人

目指す子ども像

高等部 自ら考えて行動する子ども

中学部 粘り強く取り組む子ども

小学部 学ぶ意欲をもった子ども  
興味関心の幅を広げ、自立の基礎となる生活習慣を身に付ける  
安定した気持ちで様々な経験を積み、自分でできることを増やす  
体を動かすことを楽しみ、規則正しい生活リズムを整える

訪問教育

もの・こと・人とかがわり生活を豊かにする子ども  
健康を保つ  
様々な感覚活用の力を高める  
ICTの活用や個々の表現手段によりコミュニケーションの力を高める

目指す教師像

教育的情熱にあふれ、自らを高め続ける教師  
子どもたちのために様々なことに気付き、チームで共有し、協働する教師

学校経営方針：10年後を見据え、子どもとともに成長・発展し続ける学校づくり  
令和5年度学校経営の重点：「一歩前へ！ チャレンジ 小郡特支」

**【学習指導】**

(具体的目標)  
○年間指導計画の作成及びICT機器を活用した指導の充実

- 具体的方策①  
保護者の願いや合理的配慮の観点を踏まえた計画を作成し、個に応じた指導の充実を図る。
- 具体的方策②  
ICT機器を積極的に活用し、個別の学習及びグループ学習等の充実を図る。

**【児童指導】**

(具体的目標)  
○障がいの状態や特性に応じた指導及び家庭支援の充実

- 具体的方策①  
学部内の応援体制を生かし、個別に支援が必要な児童への指導及び家庭支援の充実を図る。
- 具体的方策②  
学部に児童連絡会（月に1回）を設定し、緊急時対応マニュアルや配慮を要する児童等の対応についての共通理解を図る。

**【チーム力向上】**

(具体的目標)  
○学部内及び校内外の関係機関との連携の充実

- 具体的方策①  
学年会・学年グループ会（児童連絡会を適宜設定）や学年主任会（各学年グループの情報共有）及びICT機器（Teams等）を活用し、学部内の連携を図る。
- 具体的方策②  
校内の関係分掌等や外部関係機関の積極的な活用及び連携、情報共有【ケース会議録（学部会で報告）の活用】を図る。